

指定管理者候補者の選定結果について

中央区役所地域課所管の鳥屋野運動公園馬場について、令和5年7月20日より指定管理者を公募していましたが、以下のとおり候補者を選定しました。

施設名	鳥屋野運動公園馬場	区分	公募
所在地	新潟市中央区女池南3丁目6番5号		
施設の概要	鳥屋野運動公園馬場は、昭和41年に建設され、馬術場や厩舎を有する馬術競技専用施設として、市民の健康の増進とスポーツの振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とする施設である。		
指定管理者 (候補者)	団体名 新潟市馬術協会 代表者 会長 鈴木 盛次 所在地 新潟市中央区女池南3丁目6番5号		
指定期間 (予定)	令和6年4月1日～令和11年3月31日		
指定管理者 申請者 評価会議	委員 高岡 美代子 (新潟市スポーツ推進委員連盟 中央区協議会 会長) 委員 尾身 武 (OMI会計・税理士事務所 代表) 委員 今西 博一 (公益財団法人新潟県スポーツ協会 常務理事) 委員 西原 康行 (新潟医療福祉大学 副学長) 委員 本間 武 (ちとせ社会保険労務士事務所 代表)		
選定理由	<p>選定にあたっては、1団体から応募があり、令和5年10月24日に開催した新潟市中央区体育施設等指定管理者申請者評価会議において、応募者から提出を受けた事業計画書等の資料をもとに、事業計画、事業提案、収支計画等について選定基準に基づき評価を行った。</p> <p>その後、評価会議における各委員からの意見と評価結果を参考に検討した結果、上記応募者は指定管理者としての業務遂行能力を有するとして、指定管理者候補者に選定することとした。</p> <p>なお、候補者選定の参考とした評価会議における評価結果は、別表のとおりである。</p>		
スケジュール	<p>第1回指定管理者申請者評価会議 令和5年 7月11日</p> <p>募集要項公表日 令和5年 7月20日</p> <p>募集説明会及び施設説明会 令和5年 8月18日</p> <p>募集に関する質疑の受付 令和5年 8月21日～25日</p> <p>募集に関する質疑の回答 令和5年 9月 1日</p> <p>提案書類の受付 令和5年 9月 4日～22日</p> <p>第2回指定管理者申請者評価会議 令和5年10月24日</p> <p>今後、市議会での審議・議決を経て、指定管理者に指定される。</p>		
所管部署 (問合せ先)	中央区役所 地域課 産業文化振興室 TEL：025-223-7041 (直通) E-mail： chiiki.c@city.niigata.lg.jp		

【参考】現指定管理期間の評価（令和3年4月～令和6年3月）

指定管理者	新潟市馬術協会
総評	馬匹に対する専門的知識と長年の経験を活かし、適切に施設管理を行っている。また、乗馬療育など社会貢献活動を積極的に行っている点を評価する。

別表（評価結果）

評価基準・評価項目		配点	候補者	基準点
施設の平等利用の確保	経営理念・経営方針	5点	3.8	3.0
	施設の管理運営方法	5点	3.8	3.0
施設の効用を最大限に発揮し、管理経費の縮減が図られるか	利用者サービスへの取組	10点	7.2	6.0
	利用者数増加への取組と実現性	10点	6.8	6.0
	要望や苦情の把握・対応	10点	7.2	6.0
	管理経費の適正把握・環境保護への取組	10点	7.6	6.0
	自主事業の提案内容	10点	7.6	6.0
	区内スポーツ施設との連携	5点	3.4	3.0
事業計画に沿った管理を安定して行う能力	従事者の雇用・労働条件・人員配置	10点	7.6	6.0
	人材育成の取組・自己管理システム	5点	3.6	3.0
	安全管理の対策・緊急時の対応	5点	3.8	3.0
	個人情報保護等の取組・関係法令の遵守	5点	3.8	3.0
	地域との連携・社会貢献活動への取組	10点	8	6.0
合計		100点	74.2	60.0

※点数は、評価会議の委員の平均であるため、端数処理の関係上、合計と一致しないことがある

鳥屋野運動公園馬場指定管理者 事業計画概要

中央区地域課

項目	新潟市馬術協会(選定者)
1. 事業者の概要	設立 S45.4 役員・雇員人数 役員(理事・監事等)10人 正職員2人 事業内容 馬事振興普及のための乗馬指導、障がいのある子どもたちや福祉施設に入居している方々への乗馬療育、高校生・スポーツ少年団の馬術練習指導、県強化指定選手の指導・サポート、馬匹の飼育管理、競技場へのトレーニング 管理運営実績 鳥屋野運動公園馬場の指定管理者(H26年4月～)
2. 経営理念・経営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者という立場だけではなく、施設利用者としての立場を踏まえ、きめ細かい管理及び運営を目指す ・新潟市との協議による安全で使いやすい施設を目指す ・365日職員や役員等の配置による点検、適切な修繕管理
3. 施設の管理運営方法	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用者という側面も持ち合わせ、その利点を最大限に活かし、利用者としての立場で利用しやすい施設・環境を作り出す ・馬術場を親しみ易い施設として長期的に継続して利用いただける環境を整備していく
4. 利用者サービスへの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・乗馬技術(馬場馬術、障害馬術等)の指導 ・馬に対する一般的知識の伝授 ・ホースセラピーなど馬とのふれあいや癒しの場の提供
5. 利用者数増加への取組と実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・乗馬体験事業を積極的に行う ・フェイスブックやホームページを活用し利用者増加に取り組む ・少年団活動や、高校馬術部の指導を通じた利用者の増加 ・春秋の競技会を一般向けに公開し、馬術競技への認知度を高め、地域の馬事文化を涵養する
6. 要望や苦情の把握・対応	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対してオピニオンボックスを設置する ・常駐職員は利用者との円滑なコミュニケーションを行う ・利用者全員が管理者の一員である事を認識し誰もが対応可能となるよう研修を行う ・要望や苦情をいただいた場合、常勤職員は当協会役員(会長、理事長等)と協議の上、速やかに対応する
7. 管理経費の適正把握・環境保護への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・予算は必要となる経費を、過去の実績に基づき計上 ・実際の執行にあたっては、経費節減努力は惜しまず執行していく ・事務員の人件費は、当協会の常勤職員が兼務で行い、新たな人員配置等は行わず、人件費の軽減を図る ・馬の排出するもみ殻の堆肥については、民間企業とタイアップし堆肥の原材料として提供
8. 自主事業の提案内容	<ul style="list-style-type: none"> ・乗馬教室、ビジター、曳き馬による未経験者の受け入れ
9. 区内スポーツ施設との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟市スポーツ協会の加盟団体であり、新潟乗馬スポーツ少年団を主催 ・新潟市スポーツ協会と連携して市民馬術競技会を年2回開催 ・当協会の理事は、新潟市スポーツ協会の理事と新潟市スポーツ推進審議会の委員を務め活動を推進
10. 従事者の雇用・労働条件・人員配置	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設経験年数29年のベテラン社員 ・国際試合出場のための資格保有 ・役員10名 ・常勤職員と理事等役員が業務分担 ・ワークライフバランス推進の取組で、有給休暇の取得・資格取得等スキルアップ支援を行う
11. 人材育成の取組・自己管理システム	<ul style="list-style-type: none"> ・40年余りの少年団活動及び高校生の部活動を通じて青少年の育成を継続 ・生き物を扱うという、ホスピタリティが不可欠な生命学を通じて、青少年育成を継続 ・定期的な国民体育大会出場者を輩出 ・利用者全員が管理者の一員である事を認識する ・利用者の中から管理運営の担当理事を選任 ・理事及び監事は常勤職員の業務執行体制をチェック ・隔月開催の理事会では業務の状況等について適宜協議 ・外部からの講師を招いた研修など、定期的に研修や勉強会を実施
12. 安全管理の対策・緊急時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・事故等の発生時、常勤職員により初動対応 ・連絡網に基づく新潟市や関係各所への初動報告 ・馬場内は災害時、近隣住民に対して開放
13. 個人情報保護等の取組 関係法令の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・申込書の適切な管理、保管 ・関係者全員が施設の管理運営に関する関係法令を熟知遵守 ・動物取扱業関係法令の遵守 ・中央家畜保健衛生所の飼養衛生管理者マニュアルの遵守
14. 地域との連携・社会貢献活動への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和45年から、続く地域の方々との円滑なコミュニケーション ・乗馬スポーツ少年団活動は、地元の子供たちに対するスポーツ振興の普及 ・市内高校などに対しての馬術部および同好会を通じての指導および活動 ・隣接する新潟県立江南高校馬術部に対しての指導および活動を継続し、ほぼ毎年インターハイへの出場と、国体選手の輩出を続けている ・障がいを持った方々への乗馬療育事業の「ホッピークラブ(ホースでハッピーになるという意味)」を平成7年から継続

鳥屋野運動公園馬場指定管理者収支計画

■収 入

(単位：千円)

項目	新潟市馬術協会 (選定者)	＜参考＞ H31～R5収支報告 (R5のみ計画)
新潟市からの指定管理料	9,455	7,828
その他（自主財源）	270	559
収入合計	9,725	8,387

■支 出

(単位：千円)

項目	新潟市馬術協会 (選定者)	＜参考＞ H31～R5収支報告 (R5のみ計画)
人件費	1,400	1,000
管理費	8,075	6,921
事務費	250	466
支出合計	9,725	8,387